

学校法人 滋慶学園 東京福祉専門学校

平成 27 年度学校関係者評価結果報告書

(学校関係者評価委員の評価および意見)

評価項目	学校関係者評価委員の評価点 (平均) 3. 優れている 2. 適切 1. 改善が必要	評価委員の評価内容および意見
1. 教育理念・目的・育成人材像	2. 9	<p>学校の理念、養成目的、教育目標については明確であり、教職員もそれに基づき行動する意識がある。このことは学校運営の基本となるもので、専門学校としての特色ある実学教育を実施し、学生を育てるということに繋がっている。</p> <p>理念をしっかりと持って養成目的に掲げられている業界に出て社会貢献する人材を育成することが学校の使命であり、今後も継続して頂きたい。現在、少子化が進み学校運営も大変だと思われるが、学生募集においても理念等に沿った活動を実施することで、質の一層の向上を考えて頂きたい。また、学園の理念の1つに「地域からの信頼」がある。このことを意識して運営をおこなっていると思料するが、地域貢献の実施と地域の資源を活用することが、今後、一層重要となると思われる。これらを踏まえた活動の強化を検討して欲しい。</p>
2. 学校運営	3. 0	<p>全教職員が運営方針や目的をしっかりと理解していることが学校としての成果に繋がっていると思われる。また、学校運営が開放的で的確に推進できていると評価しており、評価委員も多くの教職員と接する機会を通して感じていることでもある。</p> <p>事業計画については学校の規模や特色から鑑みて適切なものであると思われる。今後も事業計画に基づき学校運営を推進していただきたい。</p> <p>情報システムについては管理体制が確立していると認められる。これからもセキュリティーについては徹底しておこなう姿勢を持って頂きたい。</p>
3. 教育活動	3. 0	<p>教育カリキュラムは養成目的や教育目標に基づいて綿密に構築されている。専門学校として国家資格に向けての教育は非常に重要であり、この点についても明確に事業計画等で明</p>

		<p>確に示されており実施できている。資格取得については現状でも取得率は高いが、更に多くの学生が取得できるように今後も教育改革を実施して頂きたい。</p> <p>具体的な内容としては、成績評価において小テストを導入していることが学生のモチベーション維持に大きく影響していると感じられる。日々の授業の理解と短期間での学修効果を確認することは教育上非常に有益であると評価できる。</p> <p>教職員については、卒業生教員の採用を増やしていることが多いに評価できる。卒業生たちが業界での経験を踏まえ自らが学んだ学校で後輩に伝えられるのは学生および他の教職員の双方にとって利点である。但し、他の教職員に対して「卒業生だから」という甘えが出ないように注意して欲しい。</p> <p>教育については職業人教育を標榜していることから、社会に出て通用する教育をしっかりとこなうという意識を常に持って頂きたい。システムは確立しても教職員の教え方ひとつで学生は変わるということを念頭に置いて欲しい。</p>
4. 学修成果	2. 6	<p>専門学校にとって就職率、資格取得率の高さは最大のアピールになるものである。就職率については高い数字を出しており、これからも継続できるように取り組んで頂きたい。資格取得に対する学修成果は着実に上がっている。その要因の1つにカリキュラムを適宜見直していることが効果的であると思われる。また、担任制をとっていることで一人ひとりの学生をしっかりと支援できている。</p> <p>卒業生の社会的評価については、学校として1年以内の離職防止に取り組んでおり、この分野の現状を考えると大いにその効果が出ていると評価できる。</p> <p>しかし、一方で卒業してから3～5年経過すると卒業生は現場では責任を任される立場になっていくため、ストレスから離職率が高くなってくる。</p> <p>今後はこの年代の卒業生がより活躍でき、その結果評価が高まる取り組みも検討して欲しい。</p>
5. 学生支援	2. 4	<p>学生相談室を有効に機能させる等、中途退学防止への対応等に真摯に取り組んでいる。</p> <p>実際に学生本人に対する相談・支援・指導体制は確立できしており、保護者とも連携を図って学生支援をおこなっている。</p> <p>しかし、年齢が高い層の学生もおおり、利用する学生の対応は年々難しくなっていくと考えられるので、今後も創意工夫をして欲しい。</p> <p>学生支援については学生の能力（身体的、精神的要因を含む）に因るところもあるだろうが、時間をかけてでも将来を見据えてやりたいことを気づかせる工夫が必要である。ぜひその取り組みを検討して欲しい。</p>

		<p>夢を抱いた学生が将来の目標を見失わずに明確化でき、学校生活を楽しく過ごせるようになれば退学率も減少すると思われる。</p> <p>なお、担任制をとっていること自体の利点は大きく、上手く機能していると評価できるが、特定の学生への支援に偏らないように留意して欲しい。</p>
6. 教育環境	2. 9	<p>施設・設備等については定期的にリニューアルをおこなっている。また、整備の構成も上手くできていることから、教育環境は良好に保たれていると評価できる。教育環境が保たれることが学生の意欲を高めることに繋がっていく。</p> <p>学外実習については実習地配置を機械的におこなうのではなく、学生個々の状況を鑑みて実習先を選択している。学生個々の特性と実習先の特徴を上手くマッチングしていくことで学修効果が高まり、実習中止者も防止できている。</p>
7. 学生の募集と受け入れ	3. 0	<p>オープンキャンパスは入学希望者にとって将来像の確認に適切な内容であると評価できる。</p> <p>少子化が進む中、学生募集活動は大変になると考えられるが、福祉人材確保の観点から学校の強みをしっかりと伝え、入学生の確保をおこなってもらいたい。</p> <p>入学選考について問題はないが、受験生の将来を鑑みた適性や資質がどの程度反映しているのか気になるころではある。実習の受け入れ等から感じることであるが、入学する動機が明確な学生は将来的に専門職としての質の高さを感じられる。</p>
8. 財務	2. 7	<p>問題はない。学校法人としての立場を良く理解しており、財務基盤の確立および財務情報の公開に積極的に対応している。</p>
9. 法令等の遵守	2. 9	<p>学校法人として法令等の遵守には的確に対応できている。個人情報保護についても学校の体制に問題はない。学生に対しても個人情報保護への意識付けを実施しているとのことだが、今後もしっかりと継続して欲しい。</p> <p>なお、専門学校として第三者評価を受審したことは専門学校で取り組んでいる学校が少ないなか積極的な姿勢が評価できる。評価機関である「私立専門学校等評価研究機構」から特段の問題はないとの評価を受けたことは多いにアピールできるものである。</p>
10. 社会貢献	3. 0	<p>教育機関として社会貢献・地域貢献に前向きに対応しており高く評価できる。これからは地域に根ざした教育活動が評価されてくると思われるので、この観点を強化してより良い評価を受ける学校であって欲しい。</p>

●学校関係者評価結果の活用について

本校の教育理念や養成目的・教育目標については評価委員から高い評価を頂いており、教育活動や学生支援についても概ね高い評価を得ている。

学校としてこれらを踏まえて全ての教職員が今後も真摯に取り組むことで就職率、国家資格取得率、退学率等において、より評価される数字を上げていく所存である。

教育カリキュラムにおいては学修効果と地域貢献の双方の観点から「子育てひろば」「熟年者サロン」は十分に効果をあげていると評価されており、更に退学率等の数字を踏まえて検証し、内容を改善していくことを決定した。また、次年度に向けては江戸川区と連携を図り、学校附帯の「相談事業所」を新たに開設することで教育内容を強化し、平成27年度で運営体制を確立することも決定した。

そのような中、教職員が業務過多にならないように、事業計画で「業務の選択と集中」を方針として掲げ実施することで、本来実施すべき教育活動に教職員が取り組める環境を構築していく。

委員からは学生層が多様化していくなかで、本校の「1人1人を大切にする」教育が支持されている。そのためにも入学生確保を確実にこなって欲しいとの要望に対しては、「広報＝教育」であるとのからの考えのなかで、より入学生が分かりやすく本校の強みを理解できるようにイノベーションを図っていく。

●学校関係者評価委員会

【委員氏名】

学校関係者評価委員

荻沼 泰生 卒業生代表
松丸 佳子 保護者代表
笹本 隆悦 高校関係者(叡明高等学校 校長)
桜井 道夫 近隣関係者(清新北ハイツ自治会副会長)
平方 俊雄 業界関係者(社会福祉法人 東京栄和会 理事長)
中島 昭 業界関係者(社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会 総務部長)
茂木 秀光 業界関係者(社会福祉法人 江戸川菜の花の会 常務理事)
内海 哲也 業界関係者(公益財団法人日産厚生会佐倉厚生園病院
作業療法士 主任)

学校側参加者

小林 和弘 東京福祉専門学校 学校長
結城 健二 東京福祉専門学校 事務局長
丸山 俊夫 東京福祉専門学校 教務部長 兼 ソーシャルワーク学部長
舘脇 康郎 東京福祉専門学校 ケアワーク学部長
奥村 丈司 東京福祉専門学校 リハビリテーションワーク学部長
木村 早希 東京福祉専門学校 チャイルドケアワーク学部長
小苗代正人 東京福祉専門学校 学生サービスセンター長

【平成 27 年度 学校関係者評価委員会】

平成 27 年 6 月 18 日 15:00～17:00

滋慶学園東京本部 会議室にて実施

※ 次回は平成 28 年 6 月中に実を施予定